

検討資料5) これまでにいただいたご意見

(1) 前回統合の検証

- (小学校) 統合により2クラス確保できることで、競争心も芽生え学習面での良い影響がある。
- 交友関係の広がりは、子どもの視野が広がる効果はある。
- (中学校) 統合前から交流することで、統合による人間関係のストレスを軽減する必要がある。
- (学校行事) 人数が増える事で、行事の活力は増す。
- 小さな学校の存在がネガティブなこと、消極的なこととして捉えるのではなく、ポジティブな観点で捉えて欲しい。
- 地域独自の魅力を活かし、地域ならではの野外活動などの充実を図るべき。
- 子どもたちが行きたい学校となってほしいので、学校ならではの特色をつけてほしい。
- 学校が地域からなくなること、地域住民の不満や寂しさに配慮してほしい。
- 統合するなら、出来るだけ早く決断して、準備をしっかりと進めるべき。

(2) 地域説明会

- 子どもは刺激し合って成長すると思う。少人数では競争相手がいない。
- 子どもは少なくなるが、地域に学校を残してほしい。
- 学校を超えた交流をすれば、少人数による活動が制限される課題解消になるのでは。
- 10年先、20年先の子ども数を考えるべき。短期間での統合は子どもも地域も負担が大きい。
- 児童数の適正化を図るのであれば、小規模校を選択できる制度も適正化の一つだと思う。
- 前回統合時に環境変化から不登校になる子もいた。アフターケアとして学校選択できることも一つ。

(3) 通学区域調整審議会(第1回から第4回)

【事業の進め方】

- 市長や教育長などのリーダーシップによる主導型の取組は効果的
- PTA・保護者の意見は非常に重いもので、しっかりと踏まえながら議論を進めてほしい。
- (地元との協議は地元に議論を任せるのではなく) 教育委員会が主導してPTAを巻き込んでほしい。
- 街づくりの一環としての適正配置について検討すべき。

【統合の進め方】

- 関前地域の学校について、広島県との連携を考えてほしい。
- 統合を進める前の段階として、学校間の交流は大事にしてほしい。
- 同じ今治市でも島しょ部や陸地部など、地域の実態に応じた対応も検討することが必要。
- 地域の自主的な組織の再編と連動して検討すべき。
- 小学校と地域コミュニティが連携し続ける体制づくりが必要。
- 防災拠点としての学校施設という観点で適正配置の検討をしてほしい。
- 複式学級が発生している学校では、統合を視野に入れる必要がある。
- 長期的な視点で統合頻度を広げて、ゆとりをもって計画してほしい。

- 中学校がない地域での小学校存続という形で進めていけば、それぞれの地域に学校は1つは残る。
- 校区制緩和を検討してほしい。
- 地域に案を提示する際には、丁寧な説明が必要。特に菊間が心配。
- 今後、さらに人数が減少した人数が減少した際の再審議する基準を決めておく必要がある。
- 防災の拠点としても、注意して検討する旨を一言基準に加えてほしい。

【学校のあり方】

- 特色を持った学校は、地域・移住者など色々なところから求められている。
- 規制緩和で、1つでも特例を作って、全国から子どもを集められないか。
- 学校が自由に選択できると、自分の学校をブラッシュアップしていこうという方向になる。
- 教員の業務負担軽減も適正配置と合わせて検討すべき。
- 子どもたちがやりたい部活動・クラブ活動が出来る環境を整備してほしい。
- 少し余裕を持った教員配置も必要。
- デュアルスクールは子どもにはいいが、教員負担の大きさを危惧する。
- 1学級35人以下とあるが、アンケートでは小学校は20人学級を望まれている。どこまで対応するのか。
- ICTなど新しいテクノロジーを活用して、不登校や勉強についていけない子に寄り添う、丁寧な取組をしてほしい。
- 廃校の利活用についての議論は、本審議会での検討事項とは趣旨が異なり、街づくりの観点で検討すべき。
- 教員の配置に関する内容も基準に追加してほしい。
- 現行の校区割について、今後検討してほしい。

【地域のあり方】

- 学校統合に合わせて、公民館の統合を検討する必要がある。
- 前回の小中学校統合は、市都合で行ったので、公民館の統合も市が主導して考慮してほしい。
- 人口を増やす努力をしてほしい。

【情報発信】

- 適正配置の進捗に関する情報を発信しながら進めてほしい。
- 地域への説明も丁寧にしながら進めるべき。
- 統合するのであれば、早めに情報発信すれば地域も絶対反対ということにはならない。